

水戸市内を走っていた路面電車

中央技術㈱

岡崎 克美



1. はじめに

40数年ぶりに、水戸駅に降り立ち上市（うわいち）を歩いてみて、当時の活気はどうしたの？と思いました。私にとって、水戸の街は大好きな故郷（ふるさと）です。中・高時代にいろいろな人達に出逢い、多くを教えてもらった街です。当時は、道路中央を走っていた路面電車と路線バス、トラックや自家用車等がせわしく行き交い、商店街は伊勢甚や志満津の百貨店を中心にいろいろな小売店が立ち並び、アーケードが人で賑わっておりました。映画「三丁目の夕日」ではないけれど、そんな雑踏が懐かしく思われます。

江戸時代以前の徒歩や馬、舟から、明治以降の汽車・電車の発展、そして自動車の時代になって来ました。昔の方法のすべてが良いわけではないけれども、今また、環境問題や利便性・快適性等を考え、旅客や貨物の環境負荷の少ない大量輸送機関へ転換しようとする方向になってきております。あちこちで新交通システムの検討・実施も提案されてきております。

水戸においては、電車や蒸気機関車が消える頃（1960年代、昭和30年代後半から40年代前半）から、駅南の開発と共に、主要な公共施設も駅南に移り、広範囲で大発展をしております。懐古趣味ではありませんが、再び心豊かな元気な水戸の街が脳裏に浮かびます。きっと、上市の再びの賑わいを求めている人も多いのではないかと思います。

街はだいぶ綺麗に、洗練された街になってきているとも思います。世界遺産登録を目指す歴史的建造物や街路・遺構、近代的な美術館などもあり、周辺の偕楽園・千波湖や下市等とネットワーク化して、新しい都市計画により、県都水戸（広い範囲）の飛躍を期待したいと思います。

そのような中、かつてまちなかの中心的交通手段で、水戸の経済の一翼を担っていた路面電車の跡を突然歩いてみたいと思い、友人・知人と歩きました。

茨城交通水浜線（すいひんせん）は、水戸から大洗、湊を結んだ路面電車でした。水戸市街地を中心として、上水戸から袴塚・水戸駅、遠く大洗、那珂湊まで公共交通機関としての役割を果たしてきました。

茨城交通茨城線（いばてつせん）は、別ルートとして常磐線赤塚駅から上水戸を経て、御前山まで結ばれていました。どちらの路線も通勤・通学・買い物、物資輸送等に重要な路線でした。大正時代に始まり1950年代は全盛期でしたが、街なかに線路は邪魔ということで疎んじられ、赤塚駅←→大学前駅間の1971年（S46）2月を最後に廃止となりました。

趣味の域で終わってしまうかもしれませんが、この廃線跡周辺の移り変わりを環境面からまとめてみようと思っております。のんびりと歩いており、赤塚から御前山までと、上水戸から水戸駅・一高下までは踏破しましたが、それより東方は今後の調査となります。

この新旧写真の対比記事を提示することにより、水戸という街の移り変わりに興味を持ち、実際に歩いて感じてほしいのです。そしてかつてあった活気のある水戸を取り戻したいのです。県都水戸が今後どうあるべきか考えてもらえたら幸いです。

2. 茨城交通茨城線（いばてつ線）の赤塚駅から上水戸駅そして大学前駅まで

御前山方面から県都水戸市内の各施設に往復するのに最適な交通機関でした。また県西、県南地区から茨城大学等に通学するのに便利でした。

その線路跡で昔のイメージが残っている何箇所かについて、新旧の写真を並べることによりご紹介したいと思います。今回まとめた駅（停車場）の沿革と位置図等を表-1及び図-1に示します。

表-1 路線内駅の概要

線名	駅名	よみ	開業	改称等特記	廃止	
茨城交通茨城線（赤塚-御前山）	赤塚	あかつか	T15 (1926) .10.24		S46 (1971) 2.11	
	東石川	ひがしいしかわ	金毘羅前S3 (1928) 7.6	改S29 (1954) 以降	S46 (1971) 2.11	
	西原町	にしはらまち	S15 (1940) ~ S17 (1942)		S46 (1971) 2.11	
	上水戸	かみみと	T15 (1926) .10.24	水浜線S19 (1944)	S46 (1971) 2.11	
	曙町	あけぼのちよう	S23 (1948) ~ S35 (1960)		S46 (1971) 2.11	
	大学前	だいがくまえ	兵営前S3 (1928) 7.21	改南袴塚S15 (1940) ~ S17 (1942) 移S31 (1956) 以前	S46 (1971) 2.11	
	...					
(谷中-袴塚)	御前山	ごぜんやま	S2 (1927) 3.26		S41 (1966) 6.1	
	谷中	やなか	S3 (1928) 7.10接続	S19 (1944) 8.1休止	S28 (1953) .10.20	
	袴塚	はかまつか	S3 (1928) 7.10	S19 (1944) 8.1休止	S28 (1953) .10.20	
茨城交通水浜線（上水戸-湊）	上水戸	かみみと	S19 (1944) 8.1		S40 (1965) 6.11	
	谷中	やなか	S2 (1927) 5.27		S40 (1965) 6.11	
	馬口労働入口	ばくろうちよういりぐち	高等学校前S2 (1927)	改S28 (1953) 以前	S40 (1965) 6.11	
	一中前	いっちゆうまえ	S32 (1957) 以降		S40 (1965) 6.11	
	砂久保	すなくぼ	久保町S2 (1927) 5.27	改S28 (1953) ~ S39 (1964)	S40 (1965) 6.11	
	公園口	こうえんぐち	S2 (1927) 5.27		S40 (1965) 6.11	
	大工町 (2)	だいくまち	向井町広小路T14 (1925) 2.26開業	改大工町広小路S9 (1934) 以降 改S39 (1964) 以前	S40 (1965) 6.11	
	大工町 (1)	だいくまち	T14 (1925) 2.27		S9 (1934) 以降	
	泉町三丁目	いずみちようさんちようめ	泉町二丁目T14 (1925) 2.27	改S9 (1934) 以降	S40 (1965) 6.11	
	泉町一丁目	いずみちよういっちようめ	S32 (1957) 以降		S40 (1965) 6.11	
	南町四丁目	みなみまちよんちようめ	泉町広小路T14 (1925) 2.27	改S39 (1964) 以前	S40 (1965) 6.11	
	南町三丁目	みなみまちさんちようめ	T14 (1925) 2.27		S40 (1965) 6.11	
	郵便局前	ゆうびんきょくまえ	南町広小路T13 (1924) 7.21	改S5 (1930) 以前	S40 (1965) 6.11	
	水戸駅前	みとえきまえ	T13 (1924) 7.21	移S40 (1965) 6.11	S41 (1966) 6.11	
	...					
	湊	みなと	S5 (1930) .11.22	休止S13 (1938) 6.??海門橋流出	S28 (1953) .10.20	

出典1) から作成



図-1 路線、駅、掲載写真位置図

地点1 赤塚駅

一番北側の1番線が茨鉄線の起終点で、現在もホームと線路はあります。草が繁茂しています。



出典：2) 1959 (S34). 10.16



2012 (H24). 10.13

地点2 石造り蔵

古い写真の赤丸内の大谷石造りの蔵が現存しています。右側の写真で確認できます。線路と並行する道路は市道になって、右側（南側）の道路は、昔と同じように交差しています。



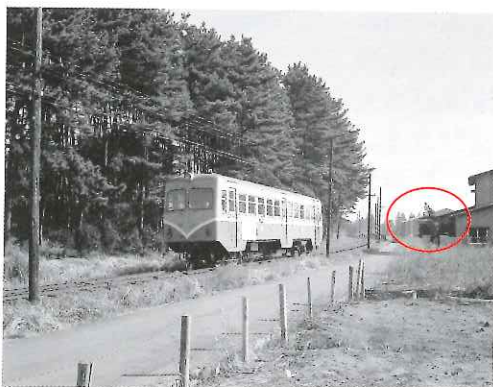
出典：3) 1971 (S46). 02.05



2013 (H25). 01.11

地点3 倉庫

奥が東石川駅で、ホームも写っているようです。駅近くの茨城北酪農農業組合の大屋根の倉庫が残っています。



出典：3) 1971 (S46). 02.05



2012 (H24). 08.19

地点4 上水戸駅

上水戸駅の構内図と写真を示します。

古い写真はどちらも奥が大学前駅方面で、5, 4番ホーム、右側端部が3番線ホームです。下左の3番線から右手前に伸びる線路は水浜線（水戸駅、大洗駅方面）に続きます。

現在は、敷地の大部分がスーパー店舗敷地となっています。

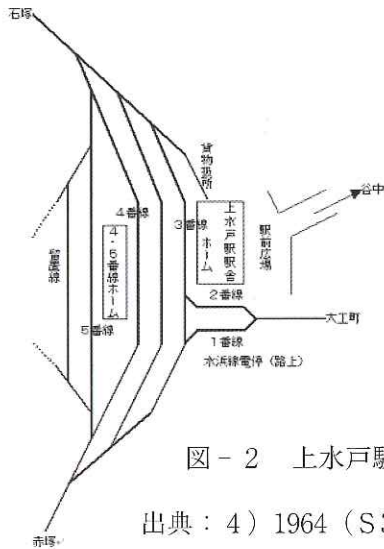
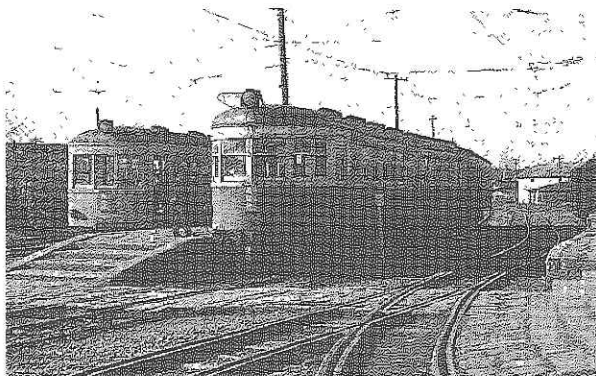


図 - 2 上水戸駅構内図

出典：4) 1964 (S39) 年末



出典：4) 1964 (S39) 年末



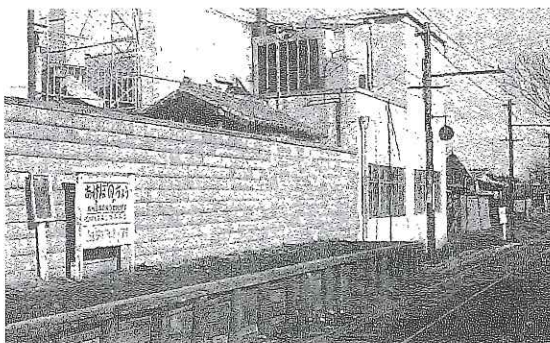
出典：5) 1961 (S36). 05



2012 (H24). 08.19

地点5 曙町駅

右奥が上水戸駅方面です。手前の高いブロック塀の前は高いプラットホーム、白い建物は水戸銀星映画劇場で低いプラットホームとなっており、高さの違う電車のデッキに合わせて停車したそうです。白い建物とブロック塀が昔のイメージそのままに残っています。



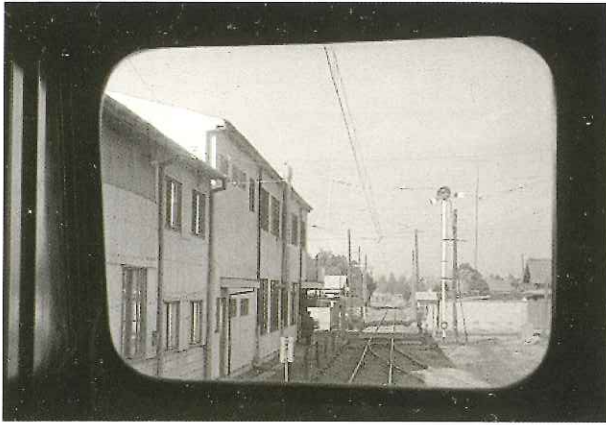
出典5) 1961 (S36). 05



2013 (H25). 01.11

地点6 大学前駅

奥は堀駅方面。駅の西側は茨城交通茨大前営業所の事務所となっています。そのままりフォームされ現在でも使用されているようです。よく見ると窓の位置がそのままです。現在の写真は反対向きで、奥が曙町駅です。赤塚駅からこの大学前駅までは1971（S46）2.11まで運行されていました。



出典4) 1964 (S39) 年末



2013 (H25). 01.11

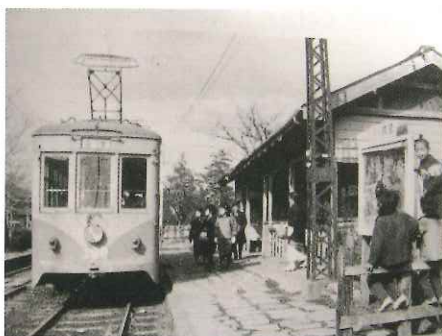
3. 茨城交通水浜線（すいひんせん）の上水戸駅から水戸駅まで

茨鉄線と水浜線の連結部分の上水戸と袴塚・谷中駅間に関しては複雑な変遷を辿り、明解ではありません。谷中駅から水戸駅までを歩いてみましょう。

地点7 谷中駅

駅は線路を中心に両側に相對してホームがあったそうです。古い写真は、ネットからの引用と知り合いからお借りした写真です。桂岸寺（二十三夜尊）参りの時（S34年）に、谷中駅で撮影したものです。奥が上水戸駅方面です。

現在は市道となっており、黄色の看板より右側に進むと保和苑が紫陽花で有名です。



出典：6) 撮影日不明



1959 (S34). 11.08 谷中駅



2012 (H24). 09.28

さらに谷中駅から水戸駅方向に進むと、左（東）側に茨城交通銘のある境界杭が残っていました（赤丸）。そのほかにも、一中前付近及び砂久保駅付近に合わせて4本発見しました。「茨交」とか「水浜」という文字が確認できます。



赤丸拡大写真2012 (H24). 09. 28



2012 (H24). 09. 28



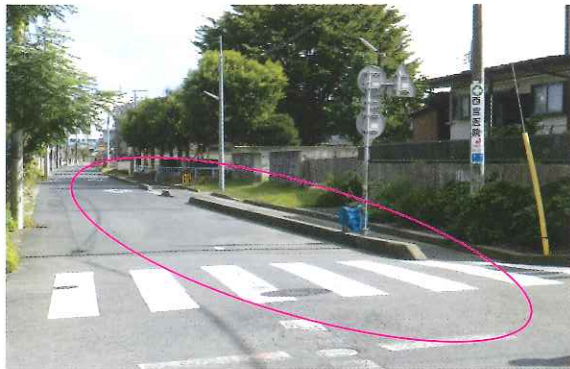
青丸拡大写真2012 (H24). 09. 28

地点8 砂久保駅

砂久保駅でも線路を中心に両側に相対してホームがあったそうです。現在西側は砂久保公園となっております。



出典：2) 1959 (S34). 10. 16



2012 (H24). 10. 13

地点9 砂久保 — 公園口

水浜線最大のクランクの連続箇所。幼い記憶にある、電車がキィキィ鳴って急激に方向転換した個所と思われます。正面に砂久保稲荷神社があります。

お稲荷様前左奥が砂久保、右手前が公園口で、手前が国道50号線で、右側に公園口駅がありました。

道路を挟んで借楽園に向かう道路の角に今でも「つくし堂」菓子店さんがいます。そして東側奥が大工町、水戸駅方向です。



2012 (H24). 10. 13

大工町

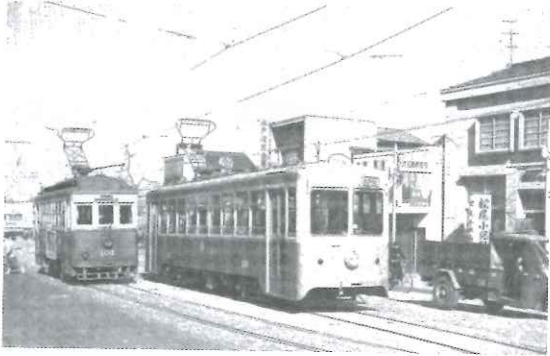


砂久保

2012 (H24). 10. 13

地点10 大工町

奥は上水戸駅方面で、水戸信用金庫が同じ位置にあります。当時松尾小児科医院さんにお世話になった人も多かったのではないのでしょうか？



出典：5) 1958 (S33). 03

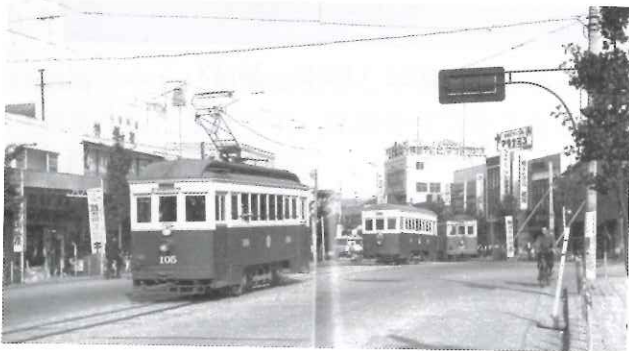


2012 (H24). 10.13

地点11 郵便局前から銀杏坂

郵便局前には、歩道橋ができて大きく変貌しました。

銀杏坂はだらだら坂ですが、満員の路面電車にとっては大変な坂でした。戦争による大火で大銀杏が残ったそうです。その後の復興により街は大きく変貌したそうです。1964 (S39) 年、東京オリンピックの聖火セレモニーが市役所で行われました。その後、水戸市役所跡が水戸京成ホテルになりました。



出典：5) 1958 (S33). 05



2012 (H24). 10.13



出典：2) 1961 (S36). 05



2012 (H24). 10.13

地点12 銀杏坂の銀杏

水戸市街地の戦時中の空襲にも生き残った銀杏があります。



大銀杏説明板 2012 (H24). 10.13



2012 (H24). 09.28

地点13 水戸駅前

古い写真で数少ないカラーでした。水府橋に向かう旧国道6号線の丁字路です。東屋旅館の位置は三の丸ホテルに代わりましたが、中華料理の珍満はそのままです。



出典：5) 1958 (S33). 05



2012 (H24). 09.28

4. あとがき

古い写真やデータはインターネットや本からの引用です。現在のものはH24, 25に現地踏査により撮りました。もっと各種情報を織り交ぜてお知らせしたかったのですが、頁の制限がありますので。次には、湊までのルート进行调查して合わせてまとめたいと思います。

引用した情報・写真等の出典一覧

- 1) 日本鉄道旅行地図帳3号 関東1 (株新潮社 平成20年7月)
- 2) <http://6.fan-site.net/~haasan55/IbarakiKotu.htm>
- 3) http://blogs.yahoo.co.jp/hideki_kobayakawa/23508771.html
- 4) <http://members.jcom.home.ne.jp/asahi-ga-oka/ibatetsu/ibatetsu.html>
- 5) 63 茨城交通水浜線 中川浩一 (株)ネコ・パブリッシング2004年11月
- 6) http://blogs.yahoo.co.jp/yamada_collection2007/32294512.html

略 歴：岡崎 克美

1952年 茨城県常陸太田市生まれ 1975年 東京教育大学理学部 (現 筑波大学) 卒業

1975年 日本テトラポッド株式会社 (現 不動テトラ) 入社

この間に 株式会社エコー、(財)リバーフロント整備センター出向

2004年 中央技術株式会社 入社 現在に至る (顧問)

資 格：技術士 (建設部門、河川、砂防及び海岸・海洋) R C C M (同部門)

測量士、一級土木施工管理技士、一級造園施工管理技士 等